海外インターンシップ体験記

カメルーン NGO(AIESEC)

法学部４年　村山　達也

滞在先　カメルーン共和国
RUWDEC Buea（AIESEC）

期間　2012 年 3 月～8 月

動機　日本と全く異なる環境で生活してみたかった。

お金

・費用≫　航空券往復：約30万円

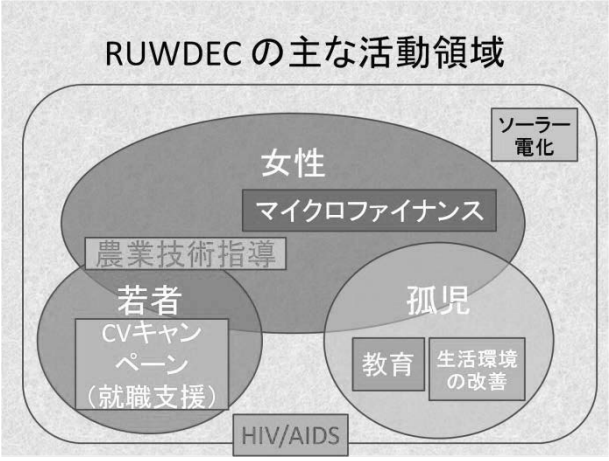
≪一日のスケジュール≫

5 時	8 時	午前	１２時	午後
起床 水汲み選択	出勤 掃除	オフィスで仕事（授業準備など）	昼ご飯	孤児院で授業など

≪参加前後のスケジュール≫

	参加前	インターン中	参加後
スケジュール	2012 年 10 月　応募 11 月　面接試験 1 月　渡航準備（予防接種など） 3 月　出発		2012 年 8 月　帰国 10 月　報告会

1.研修先 NGO について



Rural Women Development Center(RUWDEC)

女性・若者・孤児といった社会的弱者に陥りやすい人々の自立を支援する団体です。

2.研修先でどんな仕事をしていたか

2-1. 概要

関わった主なプロジェクトと a.プロジェクト概要 b.プロジェクトにおける自分の役割

①ファイナンスプロジェクト

a. 地方の女性に商売についての知識を伝え、小規模の融資を行うことで起業や事業拡大を助け、以て当該女性たちの自立を支援する。

b. 融資対象者に対する商業資本の運用・管理についての講義、融資対象者の商売の現状についての実地調査、プロジェクト広報のための成功体験談の編集、並びに当該プロジェクトの概要及び影響に関する報告書の作成（融資対象者への聞き取り調査を含む）

②CV キャンペーンプロジェクト

a. 効果的な CV（履歴書）の作成の方法及び重要性について大学生を対象に啓発活動を行う。

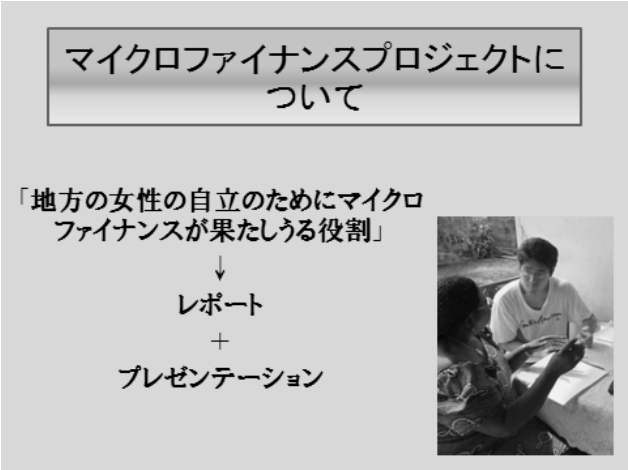
b. 大学構内におけるチラシを用いた広報・啓発。キャンペーンの主要テーマを歌詞に盛り込んだ歌（CV ソング）の製作。

③孤児院での教育・交流プロジェクト

a. 海外ボランティアの孤児院への訪問、そこでの交流・講義等を通して孤児たちに将来の自立に役立つ知識や能力を獲得してもらう。

b. プロジェクトの企画、講義計画の作成、AIDS についての講義、プログラムの運営（ボランティア達への役割分担、プログラムの司会進行等）

2-2.マイクロファイナンスについて



マイクロファイナンスは小口の融資を地方の女性に行うことで事業を始めてもらい、自立を支援するプロジェクトです。

☆こんなところが苦労した☆

・自分がそもそも働いたことがないので、ビジネスについてよくわかっていなかったこと
　⇒マイクロファイナンスや経済について現地でゼロから勉強しました（笑）

・カメルーン英語を話すおばちゃんたちとのコミュニケーション
　⇒なるべく簡単な言葉で、ゆっくりはっきり伝えることで何とか通じるようになりました。

2-3. CV キャンペーンについて

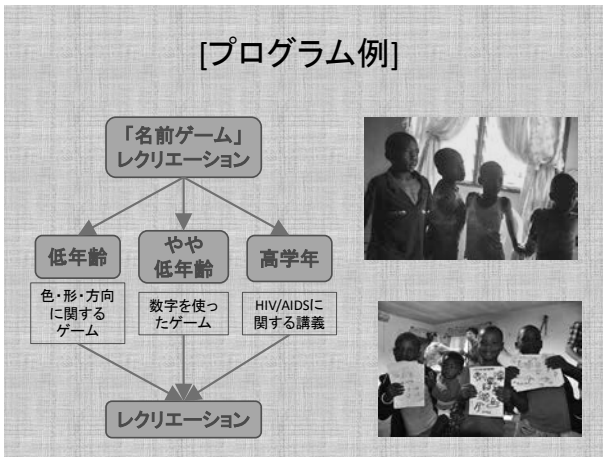
カメルーンの若者も就職難に苦しんでいます。そこで、自分の専門性や強みをうまく企業に売り込むための効果的な CV（履歴書）の書き方を知ってもらう活動をしました。

☆こんなところが苦労した☆

・どうやって CV の重要性や書き方を知ってもらうか

⇒わかりやすいよう、なじみやすいよう歌で表現しました。
（このとき制作した歌は、P1 記載の RUWDEC のブログで聴くことができます）

2-4. 孤児院での教育プログラムについて



学校が夏休みになる期間を利用して、孤児院でサマースクールを行いました。

☆こんなところが苦労した☆
・こどもたちの年齢差が大きく、知識や興味の対象に大きな幅があったこと。
⇒導入部分やレクリエーション部分は共通で、講義部分を年齢別に内容を変えることでそれぞれの年齢の子どもにあったプログラムを作りました。

3.得たもの

・企画・実行・反省サイクルでプログラムを改善していく面白さ
・自分をさらけ出すと相手との距離が近づくということを知ったこと
・厳しい環境で生き抜く体力・精神力（笑）

4.さいごに（留学やインターンシップを考えている人へ）

「インターンシップに行ってよかったか?」とよく聞かれることがあります。行かなかった場合の現在を知らないので、よかったのか悪かったのかはわかりません。ただ、この時の経験が今の生き方にかなり大きな影響を与えていることは確かです。

体験記の類を読むと、楽しかったことがよく書かれていますが、もちろんつらいことも多々あります。途中で帰りたくなることも多々あります。ですが、帰国してしばらくすると、また行きたくなりますし、楽しかったことばかりが思い出されます。行くか行かないか迷っているのであれば、行く方向で考えてみたほうがよいのではないかと思います。やってしまった後悔をする場合は、それでも何かを得ていますが、やらなくて後悔する場合は、何も得ていないので。

おまけ

ジュジュ：カメルーンの精霊的なものです。

アンケート

・おすすめ（ガイドブックにないスポット、観光地、店、お気に入りの場所、食事　etc）

食事

葉っぱと干しエビ、肉などを一緒にいためたソースをキャッサバの団子につけて食べます。苦くて酸っぱく、初めて食べたときは衝撃の不味さでしたが、帰るころには大好物になっていました。

・マナーやタブー

カトリック教徒が多いのでキリスト教のマナーやタブーによるところがおおかったです。

・持っていって良かったもの（重宝したもの、喜ばれた日本のもの、ウケた特技）

しょうゆ（現地にある食材でも何となく日本ぽいものが作れます）

インスタントカメラ（デジタルカメラが主流なので、非常に珍しがられます）

・留学前の必見本 or web サイト

外務省と JICA の国別情報

AIESEC